

企画情報室の業務概要

1. 水産業に関する知識や技術の普及

○普及情報の収集、発信

県北、県南、天草の広域本部水産課の普及員から得られる普及活動情報を収集し、相互の情報共有や行政部署への情報発信を行っています。

○漁業後継者のためのセミナー開催

若手の漁業後継者や漁協職員、市町職員等を対象として、水産業に関する様々な見識を深めるため、対象者の要望に応じたセミナーを開催しています。

○新規就業者や将来の担い手確保に向けた研修等の実施

本県で漁業を始めたいという県内外の希望者に対して、円滑に漁業が始められるよう様々な研修を実施しています。また、県内で唯一の水産高校である県立天草拓心高校マリン校舎と連携した現場実習等も実施しています。



漁業者セミナー



新規就業者への研修

2. 水産研究・普及業務に関する情報の収集・発信

○事業報告や研究報告の取りまとめとホームページへの掲載

センターの各研究部が行なっている研究業務の成果等を事業報告書や研究報告書として取りまとめ、当センターのホームページで公表しています。

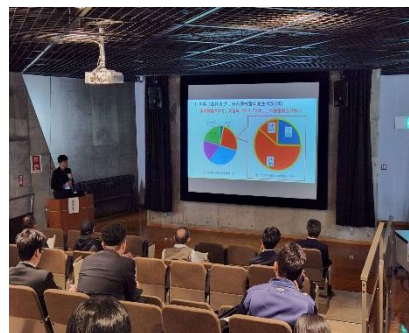
○国や大学、他県等との情報交換

国立研究開発法人水産研究・教育機構や熊本大学、熊本県立大学などと、当センター各研究部が連携して行っている研究業務の他、県内の漁業の状況や海況の情報などを定期的に国に提供し、他県の情報と合わせて共有化しています。

○水産研究成果報告会の開催

研究業務に関する普及員との情報共有、研究員のスキルアップ及び研究内容の向上を目指して、毎年1回、研究員と普及員は研究成果や活動事例を内部の報告会で報告しています。

その報告会で成果が評価されたいくつかの研究や普及事例については、毎年2月頃「水産研究成果及び普及事例合同報告会」を開催し、漁業者を始め、大学関係者や漁協関係者、市町職員に紹介しています。



水産研究・普及成果報告

3. センター業務の広報

○施設、研修センター等の一般公開

開設当初から開かれた研究機関を目指して、施設や研修センターを一般の方にも開放しています。玄関のそばにある円形水槽ではマダイやブリなどの魚たちが遊泳しており、餌やり体験ができます。また、研修センター研修室では熊本の水産業等を紹介する資料も見学いただけます。



研修センター入り口



研修室



子供たちの餌やり体験

○水産研究センターニュース「ゆうすい」の発行

トピックス的な研究成果や新規採用職員等の紹介のため、定期的に発行しており、当センターのホームページで見ることができます。

4. 研究体制の整備、研究業務の連絡調整

○研究機器、備品等の環境整備

調査や研究を効率的に進めるために必要な研究機器や備品については、導入のための予算の要求段階から必要性や有効性について関係研究部署と十分な協議を行っています。

近年の施設整備



漁業調査船ひのくに



オープンラボの利活用



海藻研究棟の整備

○研究評価関連会議の開催

試験研究を効率的に進め、より良い成果に結びつけるため研究評価制度を導入しており、当室はその開催計画や進行管理を行います。研究評価の手順は4段階に分かれ、まず当センターによる「自己評価」、次に県北、県南、天草の広域本部及び県の水産関係各課で構成される、「水産研究推進委員会幹事会」による評価、そして学識経験者、漁業団体、流通業界、消費者団体の代表者及び関係市町など外部の委員のみで構成される「研究評価会議」、最後に県庁の幹部と関係機関の長などで構成される「水産研究推進委員会」による最終評価を経て、研究の評価と今後の進め方が決定されます。